

兵庫県のコガネムシ*

高橋 寿郎

T. Takahashi; Scarabaeoid-Beetles from Hyôgô Prefecture

筆者は、本誌上に兵庫県産のコガネムシについて続けて発表させて頂いてきて(1951~1965)、大体全部を記述したわけであるが何分長期間に亙ったため、その間にこの仲間の研究も多く発表され、その同定の誤りや学名の訂正の要のあるものも多く出ているし、追加すべき種も出てきているので現在の知見で一番正しいと思う分類により、ここに目録の形式で兵庫県下産のコガネムシ名を掲げておく、追加、訂正を要する種については簡単に解説を加えておいた。

今回は、前回までご援助頂いた方々のほかに播磨東北部を主体として有益な資料を見せて頂いた猪股涼一氏に特に厚くお礼申し上げます。

Superfamily Scarabaeoides コガネムシ主科

Family Lucanidae クワガタムシ科

Subfamily Lucaninae クワガタ亜科

Genus Platycerus Geoffroy ルリクワガタ属

1. *Platycerus delicatulus* Lewis ルリクワガタ
産地；宍粟郡音水，養父郡氷の山。

Genus *Lucanus* Scopoli ミヤマクワガタ属

2. *Lucanus macurilifemoratus* Motschulsky
ミヤマクワガタ

Genus *Prismognathus* Motschulsky

オニクワガタ属

3. *Prismognathus angularis* Waterhouse
オニクワガタ

産地；養父郡氷の山。

Genus *Prosopocilus* Hope et Westwod

ノコギリクワガタ属

4. *Prosopocilus* (*Metopodontus*) *inclinatus*
(Motschulsky) ノコギリクワガタ

Genus *Macrodorcus* Motschulsky

コクワガタ属

5. *Macrodorcus binervis* (Motschulsky)
スジクワガタ

6. *M. rectus* (Motschulsky) コクワガタ

Genus *Nipponodorcus* Nomura et Kurosawa

アカアシクワガタ属

7. *Nipponodorcus rubrofemoratus* (Vollenhoven)

アカアシクワガタ

8. *N. montivagus* (Lewis) ヒメオオクワガタ

産地；養父郡氷の山，美方郡扇の山。

Genus *Dorcus* Mac Leay オオクワガタ属

9. *Dorcus* (s. str.) *curvidens hopei* (Saunders)

オオクワガタ

10. *D.* (*Serrognathus*) *titanus pilifer*

(Vollenhoven) ヒラタクワガタ

Genus *Aegus* Mac Leay ネプトクワガタ属

11. *Aegus laeivollis subnitides* Waterhouse

ネプトクワガタ

Subfamily Figulinae チビクワガタ亜科

Genus *Figulus* Mac Leay チビクワガタ属

12. *Figulus binodulus* Waterhouse チビクワガタ

Subfamily Aesalinae マダラクワガタ亜科

Genus *Aesalus* Fabricius マダラクワガタ属

13. *Aesalus asiaticus* Lewis マダラクワガタ

産地；養父郡氷の山。

Family Trogidae コブスジコガネ科

この科のものの兵庫県産については今回初めて公表するものである。

本科のものは主として動物の屍骨に集集するもので、時に灯火に飛来するのもあるとのことで小形種が多く産地も限定されているようで、従来1属8種が知られていたが、野村鎮氏はクワガタムシ科に入っていた *Nicagus japonicus* Nagel (マグソクワガタ) は本科に入るとされ(1960)したがって日本産本科は2属9種が含まれることになる。

兵庫県からは1属2種が記録出来たがともに原色で図説されているので(中根, 1963)記載は省略する。

Genus *Trox* Fabricius コブスジコガネ属

兵庫県産 *Trox* 属の種の検索表

- 1 後脛節外側の中央後に刺毛群を具え、その部は多少とも隆起する、前胸背は波状を呈する……………
opacotuberculatus Motschulsky

* 兵庫県甲虫相資料, 22.

— 後脛節外側の中央に刺毛群はない，前胸背側縁は弧状で波曲していない……………scaber (Linné)

14. *Trox* (s. str.) *opacotuberculatus* Motschulsky
ヒメコブスジコガネ

鳥居正史氏が山の街で腐肉採集で得られた標本を所有する。

産地；神戸市山の街 (1ex., 5—V—1961, 鳥居正史)

15. *Trox* (s. str.) *scaber* (Linné)
チビコブスジコガネ

日本産本属中最小の種で動物の屍骨に集ることが知られているが，県下では巖氏が芦屋で飛翔中の1頭を採集されたもの及び最近扇の山で得られた記録を知るのみである。

産地；芦屋市 [6—IV—1937, 巖, 1948], 美方郡扇の山 [VII—1962, 湯浅, 1963]

Family Geotrupidae センチコガネ科

この科の兵庫県産の記録も今回初めてである。日本に産するものは2亜科3属5種に分けられるが，兵庫県産は2亜科2属3種である。これら3種もほとんどの図鑑に図説されているので記載は省略する。

兵庫県産 Geotrupidae科の亜科の検索表

- 1 前脛節は基部に近い内面に密な毛叢を有しない…………… Bolbocerinae
— 前脛節は基部に近い内面に円い毛叢を有する…………… Geotrupinae

Subfamily Bolbocerinae

ムネアカセンチコガネ亜科

日本産は1属1種が知られており兵庫県にも産する。

Genus *Bolbocerosoma* Schaeffer

ムネアカセンチコガネ属

16. *Bolbocerosoma nigroplagiatum* Waterhouse

ムネアカセンチコガネ

本種は Waterhouse により (1875) 日本～長崎，韓国を産地として記載されたものである。兵庫県下からの記録は Lewis (1895) によるのが初めてであると考えられ，東京，横浜，神戸を産地として記録，普通ならずと記している。次いで関は御影町で電灯に飛来せる記録 (1934)，矢野は六甲山頂で電灯に飛来せるものおよび地に穴を掘りつつある計8♀6頭を1日に採集した記録 (1935)，北村は多井畑で1頭 (1937) の記録があり，その後筆者 (1941, 1943) および増田，橋本 (1941)，安立，畑中 (1955)，山本 (1958) などにより県下産の記録がされている。後藤は県下雲雀ヶ丘産の美しい原色図を發表している (1955)。

本種は県下では大体海岸寄り神戸市付近および氷上郡下のみしか産することが確認されておらず，他の地域で

の調査が不十分である。

個体数はいずれも少なく，そのほとんどが電灯に飛来しているものが採集されており，残念ながらその生態については全く知られていない。

日本全部に分布するが本州中部以北産のものは胸背板後方中央の大紋を全く消失するか，ときに後縁中央に小点として残存し，頭前部，小楯板もときに赤褐を呈することにより f. *niijimai* Nakane として基本型と区別される。

産地；兵庫 [Lewis, 1895], 川西市雲雀ヶ丘 [VII—1937, 後藤, 1955], 神戸市—神戸 [4—VIII—1948, 和田], 本山町 [1ex., 18—VI—1953, 村西], 御影 [関, 1933] (1♂, 29—X—1955, 吉阪), 六甲山 [矢野, 1955], 摩耶山 [増田, 橋本, 1941], 教育植物園 (1♂, 19—VII—1961), 多井畑 [北村, 1937], 氷上郡黒井 [1ex., 29—VI—1951], 市島 [1ex., 15—VII—1955, 山本]

Subfamily Geotrupinae センチコガネ亜科

日本産には次の1属のみが知られている。

Genus *Geotrupes* Latreille センチコガネ属

日本からは4種知られている。しかし北海道から記録された *G. stercorais* Linné subsp. *amoenus* Jacobson は日本産として疑問視されている。1種は奄美大島特産種 *G. oshimanus* Fairmaire である。兵庫県には2種を産する。

兵庫県産 Geotrupes属の種の検索表

- 1 頭楯は短く半円形，中胸の隆起線は前方において板状の鈍い突起を形成する。♂前脛節は内側中央に下向きの一歯を具える … *laevistriatus* Motschulsky
— 頭楯は長めの梯形，中胸の隆起線は水平で前端は短く錐状に前方へ突出する。♂前脛節は内側に下向きの3～4歯を具える…………… *auratus* Motschulsky
17. *Geotrupes laevistriatus* Motschulsky

センチコガネ

Lewis は日本に普通とのみ記録し，産地は掲げていない。兵庫県からの記録は関氏の御影が初めてである (1933)。県下全般に分布し普通であり，どちらかといえば中央部より南側の方に多いようである。生態についてもほとんど知られていない。

産地；川西市一の鳥居 (1♀, 17—VI—1953), 神戸市—御影 [関, 1933], 摩耶山 [増田, 橋本, 1941], 山の街 (1♂, 16—V—1954, 1♂, 17—V—1953, 2♂♂, 1♀, 29—IV—1959), 妙法寺 [北村, 1937], 有馬 (1♂, 5♀♀, 21—VIII—1958), 氷上郡 [山本, 1958], 同柏原 (1♀, 10—VIII—1955) 同神楽 [山本, 1951], 出石郡神鍋山 [原, 1938], 同神美村 [北村,

1937], 神崎郡大山村 [西村, 1954], 津名郡岩屋 (3♂♂, 26—IV—1959), 洲本先山 [17—VI—1951, 堀田, 1959], 佐用郡上月 (4♂♂, 2♀♀, 3—V—1952), 養父郡氷の山 (1♀, 21—VII—1958), 美方郡扇の山 [湯浅, 1960]

18. *Geotrupes auratus* Motschulsky

オオセンチコガネ

本種は色彩の変異が著しく地方的に固定を呈し、その色彩によって4つの型に区別されている。すなわち、*f. ruri* Nakane (奈良春日山, 滋賀県貴生川, 和歌山県護国寺, 荒神岳, 滋賀県長命寺), *f. vridiaurea* Nakane (京都牛尾山一帯, 大津, 膳所, 三重湯の山~但し釧路にも産することが報ぜられている。稲葉, 1958), *f. yaku* Tsukamoto (屋久島), *f. typica* Nakane は上記以外の地, 残念ながら兵庫県下からは *f. trpica* のみしか知られていない。

本種の県下からの記録は関氏 (1933) の御影町が一番古く、次いで北村氏の多井畑の記録がある (1937, 但し学名は *G. purpuracens* Mots., となっている)。その他神戸付近での記録は少なく、そのことは本種の神戸付近に少ないことを意味し、本種は県下ではやや中央部から北部にかけて多いようで、神崎郡とか氷上郡には普通に産する。生態についてもほとんどわかっていない。この属の1種の幼虫が Medvedev S. P. (1929) により記載されている (*G. stercorarius* L.)

産地; 神戸市一御影 [関, 1933], 摩耶山 [増田, 橋本, 1941], 多井畑 [北村, 1937], 氷上郡 [山本, 1958], 同神楽 (1ex., 13—VIII—1950, 山本), 同篠ヶ峯 (1ex., 10—VIII—1949, 山本), 同葛野, 芦田 [足立, 畑中, 1955], 同芦田 (1♂, 2—VIII—1955), 同幸世 (1♀, 1—VIII—1955), 出石郡神美村 [北村, 1937], 神鍋山 [原, 1938], 神崎郡大山村 (4♂♂, 6♀♀, 4—IX—1955) [1ex., 26—VIII—1951, 和田] [西村, 1954], 飾磨郡雪彦山 [大倉, 1957], 養父郡妙見山 [村上, 1958]

Family Scarabaeidae コガネムシ科

Subfamily Ochodaeinae

アカマダラセンチコガネ亜科

Genus Ochodaeus Serville

アカマダラセンチコガネ属

19. *Ochodaeus maculatus* Waterhouse

アカマダラセンチコガネ

本種の兵庫県からの記録は初めてである。* この亜科の日本産は1属1種のみ、すなわち本種だけである。関東地方には割合いるようであるが、近畿地区では殆んど

分布が知られず僅かに三重県 (Goto, 1956) での産が知られているぐらいである (芝田太一氏のご教示によると奈良付近にもいるそうである)。猪股涼氏によって採集された多可郡三国岳産の1頭を拝見することが出来た。県下では極めて稀と考えられる (大倉正文氏のご教示によれば1965年に岡本清氏が笠形山で1頭採集しておられる由)。

本種は地上すれすれを蠅のように飛ぶようで、春から秋にかけているようである。

美しい原色図説があるので記載はしない (中根, 1963)

産地; 多可郡加美町三国岳 (1ex., 31—V—1959)

Subfamily Scarabaeinae ダイコクコガネ亜科

Genus Copris Geoffroy ダイコクコガネ属

20. *Copris acutidens* Motschulsky

ゴホンダイコクコガネ

21. *C. ochus* Motschulsky ダイコクコガネ

Genus Liatongus Reitter ツノコガネ属

22. *Liatongus phanaeoides* (Westwood) ツノコガネ

Genus Caccobius Thomson コエンマコガネ属

23. *Caccobius brevis* Waterhouse

ヒメコエンマコガネ

24. *C. jessoensis* Harold マヘカドコエンマコガネ

25. *C. unicornis* (Fabricius) チビコエンマコガネ

体長; 3.5mm。黒色で光沢があり、頭楯, 上翅, 肢が暗赤褐色をおび、触角, 口器は黄褐色, 体表には短毛を装う、頭は中央に切れ込みがあり、大小の点刻を装い、前後に横隆起があり、前方のは弯曲する。上翅は条溝を具え第7条は強く弯曲し、間室は弱く絞肌状, 毛を伴う粗点刻を散在する。

本種は南方系の種で従来では九州のみから知られていたものであるが、後藤氏は大阪市内に多くいることを記録され (Entom. Rev. Japan, VII, 1, p.28, 1956), その後、加治木氏も大阪市北部から記録 (I. c., VII, 2, p.68, 1958) され大阪には多くいることがわかったが、兵庫県下からは全く知られていなかった。

1964年夏休の採集品同定会の席上、一小学生が摩耶山麓の人糞から得た数頭の本種をもって来て同定を求められ、初めて本種が県下にいることがわかった。再調査しなくてはならないが県下にいるとして一応初めての記録をしておく (うち1♀を貰い受けた)。

なお大阪の採集例で見ると、5月及び9~10月に多いようである。

産地; 神戸市摩耶山 (1♀, 20—V—1964)

Genus Onthophagus Laterille

エンマコガネ属

** 尤も猪股氏は1960年“播磨東北部の山めぐり”の中に和名のみで記録されておられる (兵庫の自然)

26. *Onthophagus ater* Waterhouse

クロマルエンマコガネ

27. *O. atripennis* Waterhouse

コブマルエンマコガネ

28. *O. fodiens* Waterhouse フトカドエンマコガネ

29. *O. japonicus* Harold ヤマトエンマコガネ

産地；摩耶山 [Waterhouse, 1874]

30. *O. lenzi* Harold カドマルエンマコガネ

31. *O. nitidus* Waterhouse ツヤマルエンマコガネ

32. *O. ocellatopunctatus* Waterhouse

アラメエンマコガネ

産地；兵庫 [Waterhouse, 1875, August—1871,

Lewis, 1895]

33. *O. ohbayashi* Nomura ナガスネエンマコガネ

34. *O. viduus* Harold マルエンマコガネ

Subfamily Aphodiinae マグソコガネ亜科

Genus Aphodius Illiger マグソコガネ属

本属には多くの種をふくんでおり形態的にも可成りの型がみられ古くからこれを分割する試みがなされている。現在では100に余る亜属がつくられているが Paulian (1945) は亜属とされている多くを属に引き上げて扱っている。

日本産は26亜属、47種、10亜種が知られているが、兵庫県からは17亜属、20種、1亜種が記録出来た。

35. *Aphodius (Acrosus) atratus* Waterhouse

クロツヤマグソコガネ

36. *A. (A.) superatratus* Nomura et Nakane

トゲクロツヤマグソコガネ

体背面は一様に黒色で斑紋を有しない、頭はかなり密に点刻されるが点刻は小さくて密接せず、少数のやや強い点刻を混える。前胸背の点刻は大小の差が明らかで粗点刻は中央では疎で不整、背面多少軽く凸隆し光沢がある。頭は僅かに隆起し前頭界線は細く微細、前縁はほぼ切断状、頬は凸出し後方で明らかに角をなす、前角の小点刻は密でなく粗点刻は両側で密となる、胸側は円く、後角までやや太く縁取られ弧状。小楯板は三角形、基方に少数の点刻を具える。上翅は細く条刻され、条内の点刻は小さく間室は僅かに隆まるのみ、前胸背上の小点刻とはほぼ同大の点刻を散布し、両側と後方では短毛を装う。第1附節は脛節上端刺とはほぼ同長、続く4節の和より少し短い。体長；8mm。

非常に稀な種であると思われる。

産地；水上郡 [1ex., 1961]

37. *A. (Aganocrossus) urostigma* Harold

フチケマグソコガネ

38. *A. (Agoliinus) aleutus ursinus* Motschulsky

ニセマキバマグソコガネ

黒色、縁部及び胸背前角は淡色、頭前縁は軽く湾入し両側は上反し鈍く角ばる。前頭に3瘤起がある、前胸側基縁は細かく縁取られ後角は鈍く円まる、上翅は肩部角ばり細く条刻され条内の点刻は小。

体長；5.5mm。

氷上産の1頭を検したが、県下では極めて稀な種であろう。

産地；氷上町田中 (1♀, 19—VIII—1960)

39. *A. (Agrilinus) nigerrimus* Waterhouse

スバタママグソコガネ

40. *A. (A.) uniformis* Waterhouse

エゾマグソコガネ

黒色、上翅端を除き光沢がある。頭縁、前胸側縁は赤褐色、上翅は黒褐、会合部は暗色。頭は明らかな3瘤起を具え、両側のは横位。前胸後角は円く、後縁は細く縁取られる。小楯板は三角。上翅は明らかに条刻される。

体長；4mm。

県下久崎産のものが本種に該当すると思われる。

産地；佐用郡久崎 (1ex., 27—VI—1960, 吉阪氏採集)

41. *A. (Aphodaculacus) nigrotesselatus* Motschulsky

クロモンマグソコガネ

42. *A. (Aphodiellus) impunctatus* Waterhouse

ツヤムネマグソコガネ

産地；兵庫 [Waterhouse, 1875]

43. *A. (s. str.) elegans* Alliberi

オオフタホシマグソコガネ

44. *A. (Bodilus) sordidus* (Fabricius)

ヨツボシマグソコガネ

45. *A. (Calamosternus) sublimbatus* Motschulsky

ウスイロマグソコガネ

46. *A. (Chilothorax) obsoleteguttatus* Waterhouse

セマドラマグソコガネ

47. *A. (Colobopterus) harodianus* Balthsar

オオマグソコガネ

48. *A. (Nipponaphodius) gotoi* Nomura et Nakane

ツヤケシマグソコガネ

本種は後藤氏が猫嶽 (1500m) にて採集された標本 (1ex., 26—27—July, 1943) により初め亜属 *Tristaphodius*? として野村、中根両氏により発表された (Kontyu, XIX, 2, p.10, 1951) 種である。後に中根博士は *Nipponaphodius* 亜属を創設、本種をこれに属せしめられた (Entom. Rev. Japan, X, 1, p.1959), 県下からの記録は後藤氏が採集された藤ヶ柵牧場産の1頭のみである、極めて珍しい種である。標本を所有していないので記載は省略した。

産地；神崎郡大山村追上藤ヶ柵牧場 [1ex., 14—IX—1958, 後藤, 1960]

49. *A. (Orodalus) pusillus rufangulus* Waterhouse
コマグソコガネ
50. *A. (Otophorus) brachysomus* Solsky
セマルオオマグソコガネ
51. *A. (Phaeaphodius) rectus* Motschulsky
マグソコガネ
52. *A. (Pharaphodius) chokaiensis* Nomura et Nakane
ウスグロマグソコガネ
産地；伊丹市園田 [2exs., 3—V—1949, 後藤], 養父郡氷の山 [中根, 1953]
53. *A. (P.) rugosostriatus* Waterhouse
スヂマグソコガネ
54. *A. (Pleuraphodius) lewisi* Waterhouse
コスジマグソコガネ
Genus *Psammodius* Fallén ケシマグソコガネ属
55. *Psammodius convexus* Waterhouse
セマルケシマグソコガネ
産地；神戸 [Waterhouse, 1875, Lewis, 1895]
Subfamily Graphyrinae ヒゲブトハナムグリ亜科
Genus *Amphicoma* Latreille
ヒゲブトハナムグリ属
56. *Amphicoma pectinata* (Lewis)
ヒゲブトハナムグリ
産地；兵庫 [Yawata, 1942]
Subfamily Hopliinae アシナガコガネ亜科
Genus *Ectinohoplia* Redtenbacher
ヒメアシナガコガネ属
57. *Ectinohoplia obducta* (Motschulsky)
ヒメアシナガコガネ
Genus *Hoplia* Illiger アシナガコガネ属
58. *Hoplia communis* Waterhouse
アシナガコガネ
59. *H. moerens* Waterhouse クロアシナガコガネ
- 59'. var. *reini* Heyden ラインアシナガコガネ
Subfamily Sericinae ビロウドコガネ亜科

従来本亜科に属した *Serica*属は最近の研究では *Ophthalmoserica*, *Maladera*, *Paraserica*, *Serica* とそれぞれ独立の属として取扱われているので本亜科の兵庫県産属の検索表を掲げておく。本亜科で新に3属7種が県下に産することを記録する。

兵庫県産 *Sericinae* 亜科の属の検索表

- 1 後脛節は点刻され、縦皺状でない…………… 2
— 後脛節は縦皺か縦皺状の点刻がある…………… 3
2 体はビロウド状で金属光沢がなく、背面の毛は目立たない。後脛節は巾広く、その点刻はまばらで触角は10節、まれに9節…………… *Maladera*

- 体にはぶい金属光沢があり、背面にも密に毛がはえている。後脛節は細長く、密に点刻される。触角は9節…………… *Paraserica*
- 3 後基節には横の凹線がある、♂の触角片状部は4節またはそれ以上ある…………… *Sericania*
- 後基節には横の凹線がない。♂の触角片状節は3節…………… 4
- 4 各腹節には1列の刺毛がある…………… *Serica*
- 各腹節には2～3列の毛がある… *Ophthalmoserica*
Genus *Maladera* Mulsant ビロウドコガネ属
60. *Maladera castanea* (Arrow)
クイロビロウドコガネ
61. *M. japonica* (Motschulsky) ビロウドコガネ
62. *M. kamiyai* (Sawada) カミヤビロウドコガネ
本種は *M. japonica* (Motschulsky) に甚だ似るが前脛節に第三歯を欠くこと、頭楯の前縁は略一直線をなすこと、後脛節の端刺がやや長き感じをすること、♂交尾器の形状にて区別される。
兵庫県下から記録がなかったが、湯浅氏が扇の山より記録された。
産地；美方郡扇の山 [湯浅, 1960]
63. *M. orientalis* (Motschulsky)
ヒメビロウドコガネ
64. *M. renardi* (Ballion) レナルドビロウドコガネ
65. *M. secreta* (Brenske) マルガタビロウドコガネ
66. *M. spissigrada* (Brenske) オオビロウドコガネ
Genus *Ophthalmoserica* Brenske
ヒゲナガビロウドコガネ属
67. *Ophthalmoserica boops* (Waterhouse)
ヒゲナガビロウドコガネ
68. *O. elongata* Nomura
ホソヒゲナガビロウドコガネ
体は長形にてやや扁平、暗褐色を呈し光沢なし、頭楯前縁は側部隆出し中央部やや真直ぐ、縁部はやや上反する。眼は突出するもあまり大形ならず。触角は細長く9節、片状部は♂において柄部の2倍あるいはそれ以上、♀においては柄部とほぼ同長、前胸板は暗黄褐色にて四周の側縁はやや薄褐色を呈す。上翅は明らかなる条線を有し中間帯に散点状の不規則なる黒点斑紋を装う。
体長；10mm。
本種は野村氏により山梨、長野、岐阜、長野、群馬の各県産をもって新種とされたもので *O. foobowana* (Sawada) によく似る種である。*O. boops* (Waterhouse) とは体が大きく長形やや扁平なことによって簡単に区別出来るが、県下から氷の山産のものがこれに該当すると思われる。

産地；養父郡氷の山 (1♀, 27—VII—1956, 1♂, 27—VII—1959)

69. *O. nigroguttata* (Brenske)

クロテンピロウドコガネ

Genus *Paraserica* Reitter

ハイロピロウドコガネ属

70. *Paraserica grisea* (Motschulsky)

ハイロピロウドコガネ

Genus *Serica* MacLeay

カバイロピロウドコガネ属

71. *Serica similis* Lewis

カバイロピロウドコガネ

Genus *Sericania* Motschulsky

チャイロコガネ属

72. *Sericania aikyoi* Sawada

アイキョウチャイロコガネ

産地；養父郡氷の山。

73. *S. angulata* (Lewis)

クロチャイロコガネ

74. *S. fuscolineata fulgida* Niiijima et Kinoshita

ツヤチャイロコガネ

75. *S. galloisi* Niiijima et Kinoshita

ガロアチャイロコガネ

本種は筆者未採集であるが、湯浅氏が扇の山でこの種らしいものを採集された記録がある。もっとも標本は1♀のみであるから確実に本種であるかどうか疑問である。一応記録種として含ませておく。

産地；美方郡扇の山 [1♀, 15—VII—1962, 湯浅, 1963]

76. *S. imadatei* Sawada

イマダテチャイロコガネ

77. *S. kamiyai* Sawada

カミヤチャイロコガネ

本種は沢田氏により青森県産1♂標本により記載されたもので♀の記載はない、野村氏の1960年の「日本産コガネムシ目録」では *Sericania hidana* Niiijima et Kinoshita と同一種とされている、兵庫県扇の山より内藤、湯浅両氏は上記 *S. kamiyai* として2♀♀の記録をされているが、標本が♀であるからその種の確定は難しいと思われ、筆者も標本を見ることが出来なかったので記載は省略する。

産地；美方郡扇の山 [2♀♀, 10—VI—1961, 内藤, 湯浅, 1961]

78. *S. kirai* Sawada

キラチャイロコガネ

体黒色光沢あり、小臑鬚、触角および肢は多少赤味がかかる、頭楯前方狭まり、前縁明瞭に上反し僅かに縁取られる。

眼は黒色小さい、胸背板は黒色光沢あるも側縁、後縁光沢を有し縁取られる。表面小さい点刻を明瞭に有し中央縦に僅かに凹む。

小楯板先端やや暗褐色を呈する。

上物は黒色光沢を有するが縫合線に沿い暗褐色部を有する。条線明瞭、第2, 3, 4条隆起している、皺状の点刻を一面に有する。

尾節板黒色先端に褐色毛を有す。

体下面黒色、胸部、腹部は明らかな点刻を一面に有す、後基節の横の凹線は深く白色である。各脚も黒色であるが各肢の腿節、脛節、附節の各先端は赤味がかった褐色を呈する。

体長10mm。

本種は沢田氏により九州産1♂にて記載されたが、後同氏により本州、四国産標本もふくめて♀の記載とともに詳記された。

氷の山産のものはただ1♀なので種名確定に不安があるが、このグループの他の種と一見して黒色光沢あることで区別出来ることと記載によく一致するので、ここに本種と同定しておく、伯耆大山には記録がある。

産地；養父郡氷の山 (1♀, 25—VII—1954), 美方郡扇の山 [湯浅, 1964]

79. *S. lewisi* Arrow

ルイスチャイロコガネ

本種も湯浅氏により扇の山より記録されているが、野村氏によると (1963) 本州中部以北にいる種とされている、あるいは産するかも知れない。標本を有していないし湯浅氏の標本を検していないので記載は省略するが、前記野村氏は美しい原色で図説されている。

産地；美方郡扇の山 [湯浅, 1964]

80. *S. mimica* Lewis

ナヘドコチャイロコガネ

81. *S. sachalinensis* Matsumura

カラフトチャイロコガネ

体濃褐色、微細なる白色毛を有す。頭楯前縁角円味を帯び前縁は波状をなす、側縁並びに前縁明瞭に縁取られる。眼黒色にて突出する。胸背板は全面に細点刻を有す、前縁角少し突出し、後縁角は稍々円味を帯ぶ。上翅は褐色若干ピロウド状光沢を肩部に有す、条線深く不規則なる点刻を有す、条線状に淡褐黒色の斑紋を不規則に有す。

体長；9mm。

本種は松村博士により樺太産をもって命名されたもので (Journ. Col. Agr. Tohoku Imp. Univ., Sapporo, IV, 1, p.118, 1911) 樺太、千島に普通の種であるとされているが日本にも産すことは北海道～十勝、本州～京都、越後 (新島, 1923), 岩手 (渡辺, 1937) のそれぞれ記録がある。氷の山産のものは♀標本であるので若干同定に疑問がないわけではないが他に該当種がないので本種に同定しておく。

産地；養父郡氷の山 (1♀, 25—VII—1954)

82. *S. quadrifoliata* (Lewis)

ヨツパチャイロコガネ

- Subfamily Melolonthinae コフキコガネ亜科
 Genus Apogonia Kirby カンショコガネ属
 83. Apogonia amida Lewis ヒメカンショコガネ
 Genus Nedontocnema Arrow
 クリイロコガネ属
 84. Nedontocnema castanea (Waterhouse)
 クリイロコガネ
 Genus Pollaplonyx Waterhouse
 オオキイロコガネ属
 85. Pollaplonyx flavidus Waterhouse
 オオキイロコガネ
 Genus Lachnosterna Hope クロコガネ属
 86. Lachnosterna kiotonesis (Brenske)
 クロコガネ
 87. L. convexopygo (Moser) マルヲクロコガネ
 88. L. morosa (Waterhouse) オオクロコガネ
 89. L. picea (Waterhouse) コクロコガネ
 Genus Granida Motschulsky
 シロスジコガネ属
 90. Granida albolineota Motschulsky
 シロスジコガネ
 Genus Heptophylla Motschulsky
 ナガチャコガネ属
 91. Heptophylla picea Motschulsky
 ナガチャコガネ
 Genus Polyphylla Harris
 92. Polyphylla latricollis Lewis ヒゲコガネ
 Genus Melolontha Fabricius コフキコガネ属
 93. Melolontha frater Arrow オオコフキコガネ
 94. M. japonica Burmeister コフキコガネ
 95. M. satsumaensis Nijima et Kinoshita
 サツマコフキコガネ
 産地：神戸〔沢田，1952〕
 Subfamily Rutelinae スジコガネ亜科
 Genus Anomala Samouelle スジコガネ属
 Anomala属については現在 Proagopertha, Phyllopertha, Blitopertha, Mimela, Anomala の各属に別ける分類法をとる学者もいるが、筆者の考えでは現在今1つ明瞭に別けることに納得がいかないの従来通り Anomala 属1つの取扱を本報文ではしておく。
 96. Anomala albopilosa (Hope) アオドウガネ
 97. A. conspurcata (Harold) カタモンコガネ
 98. A. costata (Hope) オオスジコガネ
 99. A. cuprea (Hope) ドウガネブイブイ
 100. A. daimiana Harold サクラコガネ
 101. A. difficilis Waterhouse ツヤスジコガネ
 102. A. diversa (Waterhouse) ウスチャコガネ

103. A. flavilabris Waterhouse ヒメスジコガネ
 104. A. geniculata (Motschulsky)
 ヒメサクラコガネ
 105. A. intermixta Arrow アオウスチャコガネ
 106. A. irregularis (Waterhouse) キスジコガネ
 107. A. lucens Ballion ツヤコガネ
 108. A. multistriata (Motschulsky)
 ハンノヒメコガネ
 109. A. octiescostata (Burmeister)
 ヒラタアオコガネ
 110. A. ohdaiensis (Sawada)
 オオダイセマダラコガネ
 111. A. orientalis (Waterhouse) セマダラコガネ
 112. A. pubicollis Waterhouse
 ナラノチャイロコガネ
 113. A. rufocuprea Motschulsky ヒメコガネ
 114. A. schöenfeldti Ohaus チビサクラコガネ

外見は A. daimiana に稍や似るも遙かに小形である。体長卵形、体色緑色光沢を有する。茶褐色を基とするも変化多く、濃銅緑色乃至紫銅色の斑紋を装い遂には暗色部はその大部分を占めるにいたる。

頭楯は歪四角形、両角は円められ軽く上反せる縁を有す、表面に皺状に点刻さる。色彩黄褐より銅緑色まで変化あり、頭頂は疎により小さく点刻さる。

胸背板はほぼ長さの3倍の巾を有す、前縁巾広く縁取られ、前縁角は鋭角をなし僅かに突出する。後縁僅かに縁取らるるも稜状板の前部にて消失し、後円角は鈍角にして円味を有する。後縁基部より中央部までほぼ真直ぐなるも、中央部より急に前方に狭窄する。表面光沢強く小点刻を浅く粗布し変化ある濃銅緑乃至紫銅色の大斑を有するも多くの場合中央にて縦の黄褐帯により二分される。

小楯板はほぼ三角形を呈し先端尖る、褐色を呈する。

上翅各7、8条の条溝を有し、細い横皺を有する、背面一様に小点刻を散布する、第1の点刻列は細く溝をなし、間室は平滑、縫合線に近く密に不規則なる点刻を有す。

尾節板黄褐、光沢あり、細かき横皺を有す、周縁部に長刺毛、前縁部近くに僅少の短刺毛を存す。

腹面、胸部腹面および腹部は通常銅褐色乃至緑光沢を伴った銅黒褐色を呈す。

肢、腿節は黒色、前脛節は強き端刺および明らかな、あるいは殆んど認め難い程度の外歯を有す。中、後脛節は軽く太まる。

触角9節よりなり、柄部黄褐、片状節はやや暗色。♂♀とも片状節長くはほぼ柄部に等しい。

一般に♀の方が上翅淡色のようにであり、その他にも♀の区別は顕著でない。

体長：11mm，体幅：6.5mm。

本種は兵庫県下からは全く記録されていなかった。分布として本州，九州，屋久島，韓国が知られ，東京近郊には可成り産するようであるが，全国的に見てもあまり分布が知られていない種である。野村鎮氏のご好意で鶴沼産1♂（15—Ⅷ—1958），辻堂産1♀（3—Ⅷ—1934）の標本を拝借検した結果，六甲山産で本種に該当するものが1♂いた，今後の調査によってさらに県下には産地があらわれてくると考えられる。

産地；神戸市六甲山（1♂，20—Ⅵ—1948）

115. *A. splendens* (Gyllenhal) コガネムシ

116. *A. takemurai* (Sawada) タケムラスジコガネ

本種は *A. flavilabris* によく似ており胸背板の皺は両種ともあるものと，ないものとあり区別がしにくい，本種では上翅の側縁隆起は中央付近でもあまり太くならず，その後方で消失し，前，中脛節は普通銅緑色，前跗節の外側の爪には切れ込みがあり，中脛節には密に毛が生えている。従来本種は県下に産しないものと思われていたが湯浅氏により記録された。扇の山で *A. flavilabris* と混棲しており，胸背板に皺がないとのこと，湯浅氏はさらに上翅の黒化したものについて *var. ohginosensis* Yuasa と命名されている。

筆者は県下産標本を有せず，別に原色でも図説されているので記載は省略した。

産地；美方郡扇の山〔1♂，19—Ⅶ—1959，鈴木，湯浅，1961，5♂♂，19—Ⅶ—1961，多田，畑中，湯浅，1961〕

117. *A. testaceipes* Motschulsky スジコカネ

118. *A. viridana* (Kolbe) ヤマトアオドウガネ

Genus *Popillia* Serville マメコガネ属

119. *Popillia japonica* Newmann マメコガネ

Genus *Adoretus* Casternau コイチャコガネ属

120. *Adoretus* (*Lepadoretus*) *tenuimaculatus* Waterhouse コイチャコガネ

Subfamily Dynastinae カブトムシ亜科

Genus *Eophileurus* Arrow コカブトムシ属

121. *Eophileurus chinensis* (Faldermann) コカブトムシ

Genus *Allomyrina* Arrow カブトムシ属

122. *Allomyrina dichotomus* (Linné) カブトムシ

Subfamily Cetoniinae ハナムグリ亜科

Genus *Rhomborrhina* Hope カナブン属

123. *Rhomborrhina japonica* Hope カナブン

124. *R. unicolor* Motschulsky アオカナブン

125. *R. polita* Waterhouse クロカナブン

Genus *Cetonia* Fabricius ハナムグリ属

126. *Cetonia* (*Eucetonia*) *pilifera* (Motschulsky)

ハナムグリ

127. *C. (E.) roelofsi* (Harold) アオハナムグリ

Genus *Protaetia* Burmeister

シロテンハナムグリ属

128. *Protaetia brevitarsis* (Lewis)

シラホシハナムグリ

129. *P. cataphracta* Arrow

ムラサキツヤハナムグリ

130. *P. lenzi* (Harold) キョウトアオハナムグリ

131. *P. orientalis submaromorea* (Burmeister)

シロテンハナムグリ

Genus *Anthrachophora* Burmeister

アカマダラコガネ属

132. *Anthrachophora rusticola* Burmeister

アカマダラコガネ

Genus *Glycyphana* Burmeister

クロハナムグリ属

133. *Glycyphana fulvistemma* Motschulsky

クロハナムグリ

Genus *Oxycetonia* Arrow

コアハナムグリ属

134. *Oxycetonia jucunda* (Faldermann)

コアハナムグリ

Subfamily Trichiinae トラハナムグリ亜科

Genus *Osmoderna* Serville

オオチャイロコガネ属

135. *Osmoderna opicum* Lewis オオチャイロコガネ

産地；神戸摩耶山，住吉，美方郡扇の山。

Genus *Gnorimus* Serville

アシナガハナムグリ属

136. *Gnorimus viridiopacus* (Lewis)

アオアシナガハナムグリ

産地；氷上郡神楽村。

Genus *Paratrichius* Janson

オオトラフコガネ属

137. *Paratrichius doenitzi* (Harold)

オオトラフコガネ

138. *P. septemdecimguttatus* (Vollenhoven)

ジュウシチホシハナムグリ

本種は大方の図鑑に図説されているので，ここに記載は省略する。従来兵庫県からは全く産することが知られていなかったが扇の山調査により，広留野のノリウツギにて1♀が採集されたことが報ぜられ，今後の調査によってさらに県下の産地が増えることが予測される。

産地；美方郡扇の山広留野〔1♀，21—Ⅶ—1959，湯浅，1960〕
(以下 p. 269へ)

(以下p. 259より)

- Genus *Trichius* Fabricius トラハナムグリ属
 139. *Trichius japonicus* Janson トラハナムグリ
 140. *T. succinctus* (Pallas) ヒメトラハナムグリ
 Subfamily *Valginae* ヒラタハナムグリ亜科
 Genus *Dasvalgus* Kolbe
 トゲヒラタハナムグリ属
 141. *Dasvalgus tuberculatus* (Lewis)
 トゲヒラタハナムグリ
 Genus *Nipponovalgus* Sawada
 ヒラタハナムグリ属

142. *Nipponovalgus angusticollis* (Waterhouse)
 ヒラタハナムグリ
 Genus *Valgus* Scriba オオヒラタハナムグリ属
 143. *Valgus fumosus* Lewis オオヒラタハナムグリ
 × × × × ×

以上で現在の兵庫県産コガネムシ類として4科, 17亜科, 54属, 143種が記録出来た。以上の143種を科別に整理すると次のとおりとなる。

科名	筆者の所蔵する 標本によるもの	標本は所蔵しないが 標本を確認したもの	記録によってではあ るが確認出来たもの	疑問種または同定誤 りと思われるもの
クワガタムシ科	10	0	3	0
コブスジコガネ科	1	0	1	0
センチコガネ科	3	0	0	0
コガネムシ科	105	2	8	10
計	119	2	12	10

(1966—Ⅲ—3)